

総合的な学習の時間

第5学年

竹原市立吉名学園

指導者 陶山翔太郎

## ニュース番組制作プロジェクト

～伝えるプロに！ 報道番組づくりに挑戦しよう！～

### 1 単元のデザイン

#### 本単元の目標

自分たちが体験したことや身近な話題を取り上げニュース番組を制作することを通して、視聴者の興味を引く内容や方法を考え、情報を発信する上で必要な基礎的な知識や技能を身に付けるとともに、自分が決定した課題に進んで挑戦し、失敗しても進んで改善を図って最後までやり切ろうとすることができるようにする。

#### 単元について

本単元の主な活動は、校内や地域の様々な話題を伝えるニュース番組を制作し発信することである。

本単元の主な教材は「地域の話題」と「ニュース番組」である。

「地域の話題」を取り上げることで、児童が現地へ行ってインタビュー活動や撮影活動に取り組むことができる。その過程で、情報を収集する力を育てることができる。

「ニュース番組」は、短い時間の中で視聴者に内容を分かりやすく伝えるために、フリップを用いて解説したり、事前に制作した映像を放映したりしている。映像に、意図的にナレーションを入れたり、テロップやBGMを入れたりもしている。これらの工夫を児童が制作するニュース番組に活用させることで、表現する力を育てることができる。

#### SDGsの視点：9 産業と技術革新の基盤を作ろう

本単元を通して情報を収集し、発信する力を付けることは、全ての人がICT技術をより広く利用できるようになることにつながる。

#### 児童生徒の実態

本学級の児童は、映像編集を3年生と5年生の総合的な学習の時間で経験している。しかし、ニュース番組の制作過程や視聴者に分かりやすく伝えるための編集・発信の方法についての知識は乏しい。

ICT活用力については高い傾向にある。ほとんどの児童がインターネットを用いて情報を収集することができる。また、自分が撮影した写真、図書資料やインターネット、アンケートで集めた情報を基にプレゼンテーションソフトを用いてまとめることもできる。さらに、動画編集ソフトを活用することもできる。

プレゼンテーション力について、意識調査では肯定的回答の割合が90%以上と高い傾向にある。しかし普段の様子からは、伝えたいことに合わせた資料を選択することはできるが、それを効果的に活用するまではできていない。

挑戦する力は徐々に身に付いてきている。1学期単元において、野外活動を自分たちで企画し実行する活動では、進んで挑戦し、実践することができていた。

#### 指導の工夫

##### (1) プロジェクト型学習

本気になる課題設定となるように、過去の5年生が制作したニュース番組を視聴させ、「吉名町の良さや自慢を竹原市の小学生に動画で伝えよう」と単元の目標を提示する。また、自分たちで編集したニュース番組をタネットで実際に放送してもらおう。これらの工夫によって児童が本気になって活動に取り組むことができるようにする。

ニュース番組の内容を検討する段階で、「吉名町に住んでいるのに自分たちの町の良さや自慢が分からない。」「どんなことを竹原市の小学生が知りたいのかが分からない。」「映像編集でどのようにニュース番組にするのか分からない。」という困難と出合わせることで、「どうしたらいいのだろう。」という疑問を引き出す。

##### (2) ICT活用

本単元では、主に協働の場でICTを活用する。具体的には、インターネットでの情報検索、リモートでのインタビューやアンケートで活用する。また、動画等を制作する際に活用する。

##### (3) シンキングツールの活用

本単元では、主に以下の4つのシンキングツールを活用する。

- ① イメージマップ……学園内や地域でどのような出来事があったのか情報を出す場面で用いる。
- ② ベン図……複数のニュース番組を比較し、その特長をとらえる場面で用いる。
- ③ チャート図……集めた情報を整理する場面で用いる。
- ④ PMIシート……自分たちが編集したニュース番組を相互評価する場面で用いる。

## 2 単元の評価規準及びルーブリック

評価の観点		S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
(1) 知識・技能	ア 知識	情報を効果的に伝える技術に関する知識を理解し、活用している。	情報を効果的に伝える技術に関する知識を理解している。	情報を伝える技術に関する知識を理解している。	情報を伝える技術に関する知識を理解していない。
	イ 技能	自分が撮影した映像等を基に、動画編集ソフトを用いて、自分の伝えたいことが明確になるような工夫を取り入れて 30 秒～3 分程度の動画 (CM・番組等) 制作することができる。	自分が撮影した映像等を基に、動画編集ソフトを用いて、テロップやBGM等を効果的に入れて 30 秒～3 分程度の動画 (CM・番組等) 制作することができる。	自分が撮影した映像等を基に、動画編集ソフトを用いて、30 秒～3 分程度の動画 (CM・番組等) を制作することができる。	動画編集ソフトを用いて動画を制作することができない。
(2) 思考・判断・表現	ウ 課題を発見する力 企画する力	体験や資料の分析から新しい課題を見付けたり、社会的な広い視野から課題を見出したりして、課題解決に向けて様々なアイデアを出している。	体験や資料の分析、地域の方の思いや願いから新しい課題を見付け、課題解決に向けて、様々なアイデアを出している。	体験したり資料を分析したりする中で新しい課題を見付け、課題解決に向けて、様々なアイデアを出している。	体験したり資料を分析したりしても新しい課題を見付けられない。また、課題解決のアイデアを出せない。
	エ 活動を計画・推進する力	課題解決に必要な情報や準備物等を自分自身で考え、時間的な見通しをもって、自発的・計画的に活動を進めている。	課題解決に必要な情報や準備物等を教師や友だちの助言を基に考え、時間的な見通しをもって、自発的・計画的に活動を進めている。	課題解決に必要な情報や準備物等を教師や友だちの助言を基に考え、時間的な見通しをもって、計画的に活動を進めている。	課題解決に必要な情報や準備物等を教師や友だちの助言を受けても考えられない。また、計画的に活動を進められない。
	オ 情報を収集する力	事前に考えた質問項目だけでなく、相手の反応を見ながら、臨機応変に対応して、より多く、より深く情報を聞き出している。	事前に考えた質問項目だけでなく、相手の反応を見ながら、臨機応変に対応して、より多くの情報を聞き出している。	事前に考えた質問項目だけでなく、相手の反応を見ながら、臨機応変に対応して、情報を聞き出している。	事前に考えた質問項目を聞くだけでインタビューが終わっている。
	カ 整理・分析する力	様々な情報を、内容や目的と照らし合わせて最も効果的だと思われるシンキングツールを選択し、整理・分析し、共通点や相違点、そこから生まれる効果等を捉えている。	様々な情報をシンキングツールを用いて整理・分析し、共通点や相違点、そこから生まれる効果等を捉えている。	様々な情報をシンキングツールを用いて整理・分析し、共通点や相違点を捉えている。	様々な情報をシンキングツールを用いて整理・分析しても、共通点や相違点を捉えていない。
	キ 表現する力	他者の共感を得たり他者を説得したりすることができるよう、これまでに学習したことを生かし構成や字幕等を工夫しながら動画を制作している。	起承転結を意識しながら構成を考え、映像の組み合わせや字幕、BGMなどを工夫しながら動画を制作している。	起承転結を意識しながら構成を考え、映像の組み合わせや字幕、BGMなどを工夫しながら動画を制作している。	構成や表現を工夫した動画を作成していない。
	ク 発想する力 工夫する力	視聴者の傾向を捉え、動画の全体構成や台詞等、よりよく伝えるための方法を考えて工夫したり、PRしたいものをよりよく伝える表現方法について発想を広げたりしている。	動画の全体構成や台詞等、よりよく伝えるための方法を考えて工夫したり、PRしたいものをよりよく伝える表現方法について発想を広げたりしている。	動画の全体構成や台詞等、よりよく伝えるための方法を考えて工夫している。	自分なりの工夫を考えていない。
	ケ 評価する力	お互いの発表や制作物に対し、よい点や改善点等を考えて伝え合うとともに、自己評価や他者評価を基に、よりよいものになるようにその都度改善している。	お互いの発表や制作物に対し、よい点や改善点等を考えて伝え合うとともに、自己評価や他者評価を基に、よりよいものになるように改善している。	お互いの発表や制作物に対し、よい点や改善点等を考えて伝え合うとともに、進んで他者の指摘を受けて、よりよいものになるように改善している。	お互いの発表や制作物に対し、良い点や改善点などを考えて伝え合っていない。他者の指摘を受けても、よりよいものになるように改善していない。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	コ 挑戦する力 やり遂げる力 (主体性)	実社会の場でも進んで挑戦し、実社会の厳しさに臨機応変に対応しながら、今の自分ができることを精一杯行おうとしている。	実社会の場でも進んで挑戦し、失敗しても進んで改善を図り、最後までやり切ろうとしている。	自分が決定した課題に進んで挑戦し、失敗しても進んで改善を図り、最後までやり切ろうとしている。	自分が決定した課題に進んで挑戦しようとし、失敗したらあきらめている。
	サ 協働する力 (協調性)	解決したい課題について多様な意見を出し合い、合意形成を図るとともに、自分の主張を通す場面と他者の主張を受け入れてサポートに回る場面とのバランスを取りながら活動を進めようとしている。	解決したい課題について多様な意見を出し合い、合意形成を図るとともに、協力しながら活動を進めようとしている。	解決したい課題について多様な意見を出し合いながら議論を行うとともに、お互いが納得しているかどうかを常に確認し、協力しながら活動を進めようとしている。	自分の意見を出そうとしていない。また、相手が納得するかを気にしていない。さらに、協力して活動を進めようとしていない。
	シ 将来を設計する力	活動を振り返る中で、自分や友達、地域よさに気付くとともに、夢や希望をもち、自分の将来を切り拓こうとしている。	活動を振り返る中で、自分や友達、地域よさに気付くとともに、夢や希望をもち、自分の長所や短所を理解し、短所を進んで改め、長所をさらに伸ばしていこうとしている。	活動を振り返る中で、自分や友達、地域よさに気付くとともに、自分の長所や短所を理解し、短所を進んで改め、長所をさらに伸ばしていこうとしている。	活動を振り返っても、自分や友達、地域よさに気付いていない。

### 3 指導と評価の計画（全 20 時間）

時	学習活動	吉名町の良さを自慢をニュース番組にして伝えよう	I C T 活用	シンキング ツール	評価規準 (評価方法)	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本単元の活動を知り、ニュース番組を制作するという目標を設定し、計画を立てる。</li> <li>・ニュース番組を制作するという活動を知る。</li> <li>・過去の5年生が制作したニュース番組を視聴する。</li> <li>・どんな話題があるかを話し合う。</li> </ul>		一斉		イメージマップ	(2)ウ (行動観察, ワークシートの分析)
2 ～ 6 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ニュース番組の作成に向けて情報収集し、計画を立てる。</li> <li>・インタビューの練習を行い、休み時間を使って先生方にインタビュー調査をする。</li> <li>・先生方から集めた情報を持ち寄り、チャート図に分類・整理する。その上で、どのニュースを取り上げるか、分担する。</li> <li>・複数のニュース番組を比較し、どのような特徴（工夫）があるか、また何のためにそのような工夫が行われているのかを話し合う。</li> <li>・分析して分かったことを、「ニュース番組づくりの極意」としてまとめる。</li> <li>・ニュース番組を作るために必要な情報を考え、取材の計画を立てる。</li> </ul>		協働		ベン図 チャート図	(1)ア (2)エ (2)オ (2)カ (3)コ (行動観察, ワークシートの分析)
7 ～ 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ニュース番組制作に必要な情報を集め、それを基に、映像の編集を行う。</li> <li>・ニュース番組制作に必要な情報を集める。</li> <li>・使用する映像を選ぶ。</li> <li>・映像をつなげたり、不要な部分をカットしたりする。</li> <li>・ナレーションや字幕、BGMを入れる等の工夫をする。</li> <li>・キャスターの練習をする。</li> </ul>		一斉 協働			(1)イ (2)カ (2)キ (2)ク (3)サ (行動観察)
14 ～ 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出来上がったニュース番組を互いに視聴し合って相互評価したり、ケーブルテレビの方から評価していただいたりして、それを基に修正する。</li> <li>・友達やケーブルテレビの方から指摘された内容を基に、番組の修正を行う。</li> </ul>		協働		PMIシート	(2)ケ (振り返しシートの分析)
16 ～ 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分たちが制作したニュース番組を発表する。</li> <li>・学校放送や吉名未来学発表会で、ニュースを発表する。</li> <li>・タネット放送と連携し、動画を流してもらう。</li> </ul>		協働			(3)コ (行動観察, 振り返しシートの分析)
19 ～ 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>●活動を振り返り、できるようになったことや今後取り組んでみたいことについてまとめる。</li> <li>・活動を振り返り、情報を分かりやすく他者に伝える手段についてまとめる。</li> </ul>		一斉 協働			(2)キ (3)シ (行動観察, ワークシートの分析 振り返しシートの分析)

#### 4 本時について

##### (1) 本時の目標

複数のニュース番組を比較する活動を通して、ニュースの具体的な構成等の特徴に気付くことができる。

##### (2) 本時の評価規準及びルーブリック

S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
複数のニュース番組を、シンキングツールを用いて整理・分析し、ニュースの具体的な構成等の共通点や各番組に特徴的な工夫である相違点に気付き、 <u>その効果を考えている。</u>	複数のニュース番組を、シンキングツールを用いて整理・分析し、ニュースの具体的な構成等の共通点や <u>各番組に特徴的な工夫である相違点</u> に気付いている。	複数のニュース番組を、シンキングツールを用いて整理・分析し、ニュースの具体的な構成等の共通点に気付いている。	様々な情報を、シンキングツールを用いて整理・分析しても、共通点に気付いていない。

##### (3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童生徒への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)
1 これまでの学習を想起する。	◇これまでの学習を想起することができるように、これまでの学習過程を見通せる掲示物を提示しておく。	
2 本時の課題を確認する。		
吉名町の良さや自慢をどのようなニュース番組にしていくか実際のニュースから構成を考えよう。		
3 複数のニュース番組を比較して、個人で共通点や相違点を考える。	◇ニュース番組を比較することができるように、複数のニュース番組を提示する。 ◆ニュース番組の工夫を見付けにくい児童には見る視点を伝える。(ナレーション・テロップ・BGM・映像のアップやルーズ等)	
4 ニュース番組を比較して気付いたことを交流する。 ・共通点や相違点を共有する。 ・共通点に挙げられたもの(テロップ等)の効果について話し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ニュース番組の工夫                      ・事前にニュースの内容を要約して伝えている。                      ・映像には、ナレーションやテロップ、BGMを入れる。                      ・映像には、アップやルーズがある。                 </div>	複数のニュース番組を、シンキングツールを用いて整理・分析し、ニュースの具体的な構成等の共通点に気

<p>5 どのような構成で番組を編集していくかをグループで話し合う。</p> <p>6 話し合った内容を全体で交流する。</p> <p>7 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇発表内容を整理し、これからのニュース番組作成の手本にできるようにする。</p>	<p>付いている。 (行動観察、 振り返りシート の分析)</p>
---	---	---

#### (4) 板書計画

1月30日(月)㊦

吉名町のよさや自慢をどのようなニュース番組にしていくか実際のニュースから構成を考えよう。

#### (5) 準備物

- 電子黒板
- Chromebook
- 映像教材